

大阪城 豊臣石垣館

Osaka Castle Toyotomi Stone Wall Museum



豊臣時代大坂城本丸図
歩牛筆写

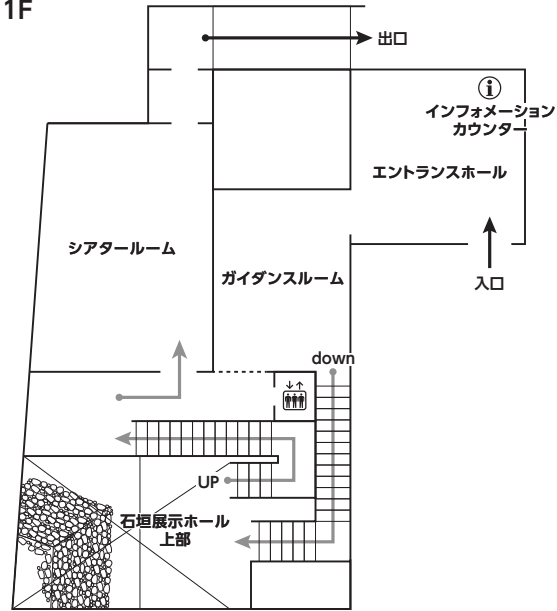
豊臣時代大坂城本丸図 ○が「豊臣石垣館」にて公開の石垣

「大阪城 豊臣石垣館」では「詰ノ丸」を防護した石垣を公開しています。

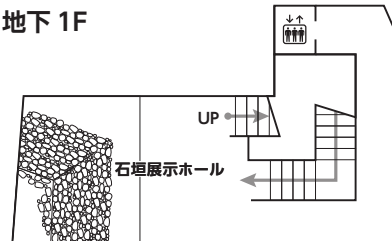
詰ノ丸は秀吉・おね夫妻や淀殿・秀頼母子が生活したプライベート空間。本丸のなかでも最重要の中心部です。

Floor Map

1F



地下1F



ガイダンス映像 「地中に埋められた石垣～大坂城は2つあった～」

石垣解説映像 「詰ノ丸石垣の見どころ」

シアター映像 「『日本一の石垣の城』大坂城—激動の軌跡—」

開館時間 午前9時～午後6時(最終入館 午後5時30分)

休館日 年末年始(12月28日～1月1日)

※入館には大阪城天守閣の入館料が必要です。

※公開石垣の動きや環境変化を観測し、安全に観覧いただけるよう努めていますが、予期せぬ崩落などを完全に防ぐことはできません。石垣の状態により、予告なく公開を中止することがあります。

大阪城天守閣HP <https://www.osakacastle.net/>



天正11年(1583): 羽柴(豊臣)秀吉が大坂築城を開始

慶長 3年(1598): 豊臣秀吉が没する

慶長20年(1615): 大坂夏の陣。大坂城落城

元和 6年(1620): 徳川幕府が大坂城再築を開始

昭和59年(1984): 豊臣大坂城「詰ノ丸」石垣発見

令和 7年(2025): 「大阪城 豊臣石垣館」オープン

豊臣秀吉が築いた大坂城は、「三国無双」・「日本一堅固」と称賛される豪壮華麗な城でした。しかし秀吉の没後、大坂夏の陣で落城。その後、徳川幕府は大坂城の再築にあたり、豊臣家の権威を消し去るかのように、豊臣大坂城を大量の盛り土で地中に埋めてしまいました。いまの大坂城の石垣や堀は、すべて幕府による再築時のものです。豊臣期の石垣を地上で見ることができません。



大坂夏の陣図屏風(重要文化財) 大阪城天守閣蔵

「大阪城 豊臣石垣館」では、昭和59年(1984)の発掘調査で姿をあらわした豊臣期石垣を、地中に降りてご覧いただくことができます。徳川再築の石垣とは異なる魅力と迫力、そして驚くべき盛り土の分厚さを体感していただきます。

豊臣石垣の特徴と見どころ



のづらづ 野面積み

自然石をほとんど加工せずに積み、素朴で荒々しい「野面積み」の技法で築かれています。



こんせき 戦火の痕跡

大坂夏の陣の猛火を受けた痕跡が石垣の表面に見られます。



うらご いし 裏込め石

石垣の裏側には小さな石が詰めこまれています。水はけを良くするための工夫です。

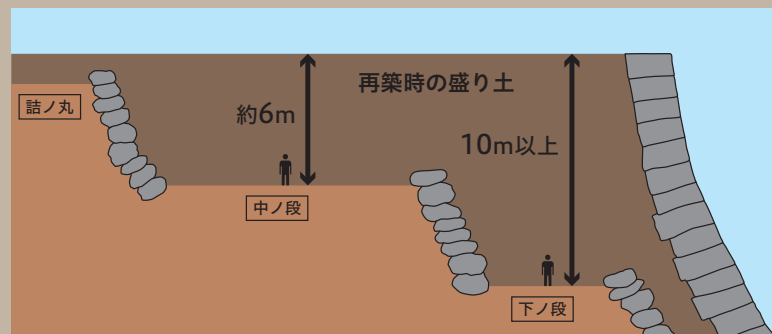


転用石

古代寺院の礎石なども運びこまれ、積まれています。

さんぎつ 算木積み

石垣の角部分を強固に築くため、直方体の石を交互に積み上げる「算木積み」の技法。その原初的な姿を見ることができます。



徳川幕府による盛り土

豊臣大坂城の本丸は「詰ノ丸」・「中ノ段」・「下ノ段」の三段構造になっていました。徳川幕府は再築時、中ノ段レベルでは約6mの盛り土をほどこし、豊臣石垣を埋め殺しにしました。